

関ヶ谷市民の森愛護会

(平成20年度第4回役員会決定事項等)

平成20年11月9日

伐木の安全な倒し方

県の「チェーンソー二日研修」を受講した際、初日は「伐木の安全な倒し方」に終始した。その内容は、チェーンソー利用の有無に拘らず、我々の樹林管理活動に極めて役立つものと思われた。以下にそのエッセンスをご紹介させて頂く。(宮本)

(1) 「近接作業」や「上下作業」は厳禁

先ず、作業の手順、作業者の配置、作業中の合図など必要な事前打合せを行うほか、伐倒周辺の障害物や邪魔物などの除去を行うが、特に留意すべきは近接作業（伐木の高さの1.5倍の範囲は危険区域で、その中で他の作業）や斜面での上下作業は絶対に避けること。

(2) 「伐倒方向」の決定

伐木の傾き、曲がり、枝の張り具合などによる伐木自身の重心の位置や隣接木との枝がらみや蔓がらみの有無とその状況、地形、風向きなどを考慮のうえ、安全で確実に倒せる方向を選定するが、一般的には、斜面の横方向か、斜め下方向を選定するのが安全。



(3) 「退避場所」の選定

伐倒時の退避場所として、伐倒方向とは反対側の斜面上方で、伐木から3 m以上離れた立木などの陰を選び、かつ、退避時の障害物となるようなものは予め除去しておいて、伐木が倒れ始めたら直ちにそこへ退避すること。

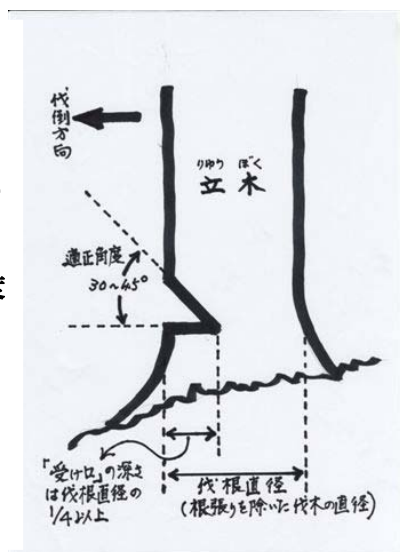
(4) 伐木の「安全な倒し方」

伐木は、選定した伐倒方向側からその方向に垂直に「受け口」を切り込み、続いてその反対方向からもそれに垂直に「追い口」を切り込むことにより、緩やかにかつ安全に、意図した方向に確実に伐倒させること。なお、「追い口」を切り込む直前には、作業員以外の者は「危険区域」から十分離れているかどうかを確認のうえ、笛などにより伐倒の合図を必ず行うこと。

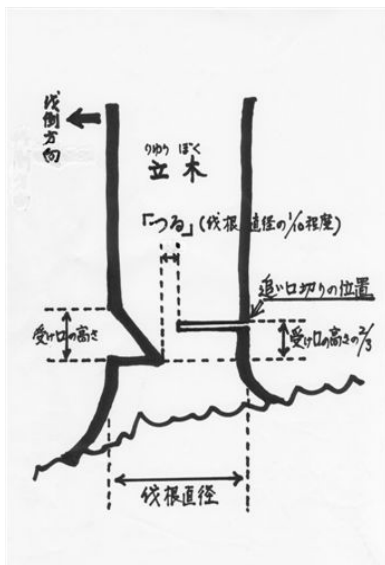
① 「受け口」の切り方

- ★「受け口」は山側の地際を標準に低めに設定し、下切りと斜め切りとにより伐倒方向に垂直にV字型に切り込むこと。
- ★「受け口」の下切りの深さは、伐根直径の1/4（大径木の場合は1/3）以上とし、水平に切り込むこと。
- ★「受け口」の斜め切りは、下切りに対して30～45度の角度をとり、下切りと斜め切りとは、終わりの部分を必ず一致させること。

(注) チェンソーの先端による「受け口」奥の突っ込み切りで、「芯切り」を合わせ行っておくことが望ましい。とくに、大径木の場合は必ず行うこと。



② 「追い口」の切り方



- ★「追い口切り」は、「受け口」の正反対方向から、「受け口」の高さの下から2/3程度の位置を水平に切り込むこと。
- ★「追い口切り」の深さは、「受け口」の切り込み先から伐根直径の1/10を残す程度（これを「つる」と言う）に留め、決して切り込み過ぎないように注意すること。この段階で「追い口」は徐々に浮き始め、伐木はゆっくり倒れ始める。
- (注) 「つる」とは、「受け口」と「追い口」との間の切り残された伐根直径1/10程度の段違いの帯状の部分を行い、伐木が倒れるとき曲がりながら折れて最後は切断されるが、その際の抵抗が伐木の倒れる速度を緩やかにし、「つる」そのものが「蝶つがい」の機能を果たし倒れる方向を正確に保つ働きをする。

③ 「つる」のバランスと「くさび」の併用

- ★「つる」の大きさは、「つる」の高さと幅で決まるが、「追い口」の位置が低すぎたり「追い口」を切り込みすぎたりすると「つる」が小さくなり過ぎて機能せず、伐木が早く倒れたり、裂けたり、伐倒方向がずれたりして、大きな災害に繋がること少なくないので注意のこと。
- ★「つる」の幅が左右で異なると「つる」の切断の速度が左右で異なり、「つる」の切断の遅い方、つまり、「つる」の幅の広い方へ引かれて倒れるので「つる」の幅は均一にすること。
- ★しかし、この性質を利用して、例えば、伐木の重心が伐倒方向の左側に偏っている場合は伐木の倒れる方向が左に傾き易いので、これを是正するため重心の反対側（＝右側）の「つる」の幅を広目にとって、伐倒が正確に意図した方向になるよう調整することが出来る。但し、この場合二枚の「くさび」の併用が必須で、「一枚目のくさび」を真後ろに打って鋸道を確保するとともに、「二枚目」を左後方から強目に打って重心を伐倒線上に矯正移動させておくことが必要。

以下は、平成20年11月8日（土）開催の
「平成20年度第4回定例役員会」における決定事項等

[I] 今後の公式活動日

- 11月15日（土）公式活動（樹林管理、竹垣、ほたるの里、炭焼き等）
12月7日（日）公式活動（同上）
20日（土）公式活動（樹林管理、竹垣、ほたるの里補修等）
1月4日（日）公式活動（同上）

（注）各活動日の具体的な作業内容の詳細は、当該活動日の数日前にご連絡します。

[II] 今後のパトロール予定

11月9日（日）	鈴木 勲	永田 一彦
16日（日）	真鍋 とめ子	雨宮 誉子
23日（日）	吉田 文雄	梶田 良春
30日（日）	徳岡 正彦	山口 精一郎
12月7日（日）	外山 カオル	塩山 裕子
14日（日）	宮本 英利	宮本 久美
21日（日）	萩尾 泰章	萩尾 和子
28日（日）	日高 清之	中村 治
1月4日（日）	野路 美智恵	森 紀美江
11日（日）	戸次 鎮治	戸次 明子
18日（日）	入部 信寿	吉川 征治
25日（日）	加藤 文明	大木 道宏

（注）パトロールは、「巡回チェックリスト」によって行い、結果は、上記
「巡回チェックリスト」を、川島担当役員あてFAX（ ）か
メール（ ）によって、ご報告して下さい。

[Ⅲ] クラブ等の活動状況

(1) ほたる復活クラブ

- ① 「ログハウス」内に幼虫飼育施設の設置を完了し、目下試行的にタニシを飼育中。
- ② 「横浜ほたるの会」から、「平家ほたる幼虫」1,000頭を追加入手し、幼虫飼育会員に追加配付。11月8日現在で、7クラブ員により2,126頭を飼育中。
- ③ 今後、「せせらぎ」等の縁を高くして水漏れや土石の侵入を防ぐ等の修復を行う他、12月には、「ほたるの里」内の木道の補強・整備を実施する予定。

(2) 園芸クラブ

9月1日に種蒔きを終えたパンジーは、順調に発芽し、ポットへの鉢上げも終了して、開花後の花壇への移植に待機。早ければ次回活動日にも移植可能か。

(3) 木工クラブ

- ① 11月2日のパークタウン秋祭りに出店した「コースター造り」は成功裡に終了。
- ② 年末恒例の「門松造り」は、12月27日(土)の午前中に実施予定。希望者は、ペンチ、ハサミ等必要な器具を持参の上、午前9時までに「炭焼き広場」に参集のこと。ただし、雨天・荒天の場合は、翌28日(日)の同時刻に順延する。
- ③ 来年1月10日(土)は、関ヶ谷自治会主催の「ドンド焼き」に、「コースター造り」で出店する。多数の参加協力を期待。

(4) 炭焼事業

11月15日(土)の活動日は、奇数月の第二活動日に当り、炭焼きを実施する。火入れは午前7時の予定。多数の参加協力を期待。

(5) 魅力ある森造り事業

新中期計画「魅力ある森造り事業」がいよいよ著に就く。先ずは、12月以降、連絡文20-2号図⑥に示す「いこいの広場うえの北西斜面」の左半分の花壇化に着手する。続いて、来春には、連絡文20-2号図⑧に示す「ログハウス裏側周辺」に花木の植樹を実施する。

[Ⅳ] その他

(1) 危険予防のための緊急連絡先の設置

先月、「炭焼き広場」から「日高さんの物置」への坂道で、大きな杉木の倒木があった。幸いにも荒天時の出来事で人身事故には至らなかったものの、極めて身近

に危険な状態が続いていたことになる。今後このような事態を未然に回避するため、樹林管理担当者による調査を徹底する他、活動時、散策時、パトロール時のいかなを問わずこのような状態を事前に発見または聴取した会員は、直ちに、下記の緊急連絡先あて急報願いたい。篠原総務担当役員を中心に樹林管理者グループにより可及的速やかに対処する。

緊急連絡先

篠原 英男

電話：783-5763

(総務担当)

メール：shinohara hideo@ybb.ne.jp

(2) 有志による忘年会

今年も、「有志による忘年会」を下記要領で行う。奮ってご参加下さい。

忘年会

日時：平成20年12月27日(土) 午後6時から

場所：「関ヶ谷自治会館」

参加費：男性1,500円 女性1,000円

申込み：参加希望者は、12月20日迄に、戸次会員までお申し込み下さい。

(3) 次回定例役員会

次回「平成20年度第5回定例役員会」は、平成21年1月4日(日)、午後7時から、「関ヶ谷自治会館」において行う。

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲

(文書担当 宮本 英利)